

1 公衆衛生看護学

科目名	単位数	時間	開講時期	担当講師		
公衆衛生看護学概論	2	30	4~1月	茂木千歳 洲崎久代 工藤康子 本田真子		
目的	公衆衛生看護の概念及び基礎的知識・技術・態度を学ぶ。 公衆衛生看護がヘルスプロモーションの理念を基盤とした看護活動であることを学び、公衆衛生看護の実践者である保健師活動について理解する。 また、公衆衛生看護の歴史の変遷から公衆衛生看護の本質について考察する。					
単元名	教育内容		時間数	時期	方法	担当講師
1 公衆衛生看護の概念	(1)公衆衛生看護の概念 (2)公衆衛生看護の対象 (3)公衆衛生看護活動の展開過程		10	4月~5月	講義	本田
2 公衆衛生看護活動を促す理念	(1)健康と予防の概念 (2)プライマリヘルスケア (3)ヘルスプロモーション (4)その他関連概念		2	6月	講義	本田
3 公衆衛生看護と保健師活動	(1)公衆衛生看護活動の場 (2)保健師活動に求められる能力 (3)行政機関の保健師に期待される機能と役割		4	6月~7月	講義	本田
4 公衆衛生看護における倫理	(1)倫理 (2)看護職の倫理綱領 (3)公衆衛生看護活動における倫理		2	7月~8月	講義	本田
5 公衆衛生看護の実践分野と活動の特徴	(1)保健所における保健師活動 (2)市町村における保健師活動① (3)市町村における保健師活動②		2 2 2	6~8月 10月 10月	講義 講義 講義	工藤 茂木 洲崎
6 保健師活動の歴史の変遷と社会とのかわり	(1)公衆衛生看護活動の始まりと発展 (2)保健婦制度の成立 (3)戦後の公衆衛生看護活動 (4)高度経済成長期の公衆衛生 (5)海外の公衆衛生の発達と地域看護活動の歴史		5	12月	講義	本田
	筆記試験		1			本田
評価方法	筆記試験					
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・標準保健師講座1 (医学書院) ・標準保健師講座別巻1 (医学書院) ・看護六法 ・標準保健師講座2 (医学書院) ・保健師業務要覧 					

添付書類②-2 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
母子保健活動論 I	1	30	4～7月	鹿 内 文 枝		
目 的	母子保健活動の理念と女性のライフサイクルを理解し、対象の健康の保持増進・生活の質の向上を目指した地域母子保健活動の基礎的知識と支援技術を学ぶ。					
単 元 名	教 育 内 容		時間数	時 期	方 法	担当講師
1 母子保健活動の理念と歴史の変遷	(1)母子保健と女性の健康に関する理念・概念 (2)母子の健康関連指標の動向と母子保健施策の変遷		2	4月	講義	鹿内
2 乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援	(1)乳幼児の成長発達 (2)乳幼児の生活と保健指導 (3)乳幼児期の健康課題と保健師の支援		10	4～5月	講義	鹿内
3 母子保健施策と保健師活動	(1)健やか親子21 (2)子育て支援施策 (3)母子保健における健康課題 (4)児童虐待予防対策		6	5月	講義	鹿内
4 妊娠・出産・子育てに関わる支援	(1)妊娠・出産期における保健師の支援 (2)産後の生活と保健師の支援 (3)事例から考える (4)子育て家庭への支援の実際 ～家庭訪問実習での支援をとおして		5	5～6月	講義	鹿内
5 支援ニーズが高い親子の健康課題と支援	(1)児童虐待の理解と保健師の支援 (2)その他の健康課題と保健指導		4	6～7月	講義	鹿内
6 女性のライフサイクル各期の健康課題と支援	(1)思春期の健康課題と支援 (2)成熟期の健康課題と支援 (3)更年期の健康課題と支援		2	7月	講義	鹿内
	筆記試験		1			鹿内
評 価 方 法	筆記試験					
使 用 テ キ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> ・保健学講座3(メヂカルフレンド社) ・看護六法 ・乳幼児健診マニュアル ・イラスト小児の生活援助 ・写真で見る乳幼児健診の神経学的チェック法 			<ul style="list-style-type: none"> ・標準保健師講座3(医学書院) ・保健師業務要覧 ・授乳・離乳の支援ガイド実践の手引き ・国民衛生の動向 		